



はれるんマガジン

～気象・地震に関わる素朴な疑問に答えます～ 発行：福岡管区気象台

今月の素朴な疑問

気象業務150周年記念企画

気象庁・気象台ってどんな仕事をしているの？-Part4- — 『地震』の仕事 —

気象庁は、1875年（明治8年）に東京気象台として気象業務を開始してから、2025年（令和7年）で150年の節目を迎えました！この節目に合わせて、はれるんマガジンでは気象庁・気象台の仕事や歴史を連載でご紹介します！

9月1日は1923年（大正12年）に関東大震災が発生した日で「防災の日」です。そんな背景もあり、第4回はいつ起きるかわからない『地震』に関する福岡管区気象台の仕事を紹介します。

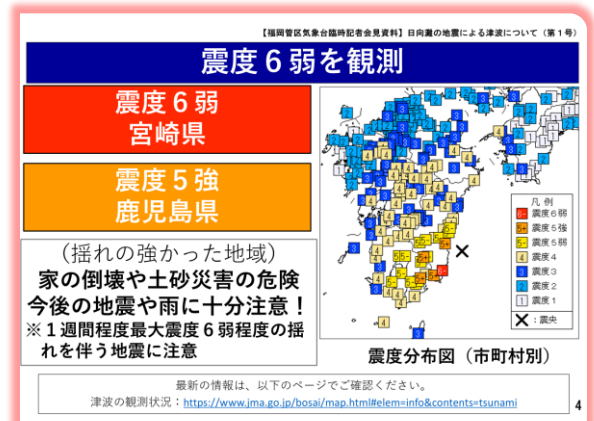
■緊急時のお仕事！大きな地震や津波が起きたら…

福岡管区気象台では、九州・山口県に関わる大きな地震や津波が起きた時には、昼夜・休日問わず緊急の対応を行います。具体的には、県や市町村などの防災機関をはじめとする関係者が地震や津波に関する正確な情報を円滑に利用できるよう、地震・津波の概要や警戒事項等をまとめた資料を作成したり、記者会見を開催し警戒事項の“呼びかけ”を行うとともに、気象台ホームページで速やかに資料を公表しています。

加えて、テレビ局や新聞社などからの電話問合せへお答えすることも緊急時の仕事の1つです。



緊急時（大きな地震が起きた時など）には、地震や津波の資料を作成し、記者会見等で発表します。



2024年8月8日「日向灘の地震」（最大震度6弱）の概要・留意事項をまとめた資料の1ページ



■普段（平常時）の仕事

『地震』に関する仕事は大きな地震・津波が起きた時だけではありません。平常時は次のような仕事をしています。

- ・防災訓練や出前講座（講演）等で地震・津波防災に関する普及啓発活動をしています。
- ・緊急地震速報等など地震に関する情報の発表に利用するデータを観測するための施設・機器の整備・維持管理をしています。
- ・福岡県内と九州・山口県の地震活動を解析し資料にまとめて定期的に公表しています。

なお、緊急地震速報や津波警報・注意報等は、気象庁の本庁（東京）や大阪管区気象台から発表しています。

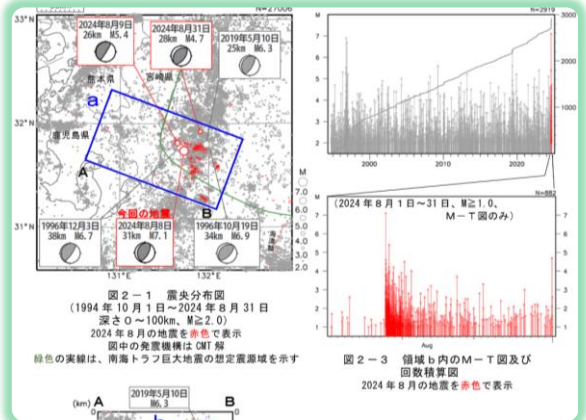
『津波フラッグ』 は避難の合図！ 海から離れて高いところへ！



防災訓練に参加したり、講演を行って、地震や津波の防災に関する普及啓発に取り組んでいます。



専門業者と連携して、観測機器の整備や維持管理をしています。



九州・山口県の地震活動をまとめた資料を作成・公表しています。

津波フラッグとは？
(気象庁HP)



次号は福岡管区気象台の『火山』の仕事をご紹介します。お楽しみに！



はれるん・気象台からのお知らせ



■「防災・お天気フェア2025」を10/5（日）に開催します！！

福岡管区気象台で、**10月5日（日）**にお天気や防災について楽しく学べるイベント「防災・お天気フェア2025」を開催します！

毎年ご好評いただいている「気象台見学ツアー」はもちろん、気象・地震・

火山・防災に関する実験や展示、工作教室などの講座も行います（一部要予約）。イベントの詳しい内容は、後日、福岡管区気象台のホームページでお知らせしますので、ぜひ、チェックしてみてください。

当日はみなさまに会えるのを楽しみにしています！

※大雨や大きな地震が起きた場合は中止することがあります。

福岡管区気象台
ホームページ



思い出の日の
天気図もらえる！

福岡管区気象台
防災・お天気フェア
2025 10.5 日 10:00-16:00
in 福岡管区気象台 最終受付 15:30

入場無料！

はれるんに加え、
新しい仲間
「ぼるけん」が
初登場！

はれるん

ぼるけん

ご意見をお待ちしています

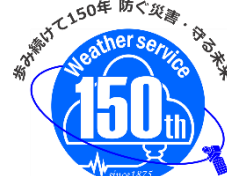
問合せ先

〒810-0052 福岡市中央区大濠1-2-36

福岡管区気象台地域防災推進課はれるんマガジン編集部

電話：092-725-3614

e-mail：fukuoka_bousaichosa@met.kishou.go.jp



2025年、気象業務は**150**周年を迎えました！

今回の発行は2025年10月の予定です。